

第4章

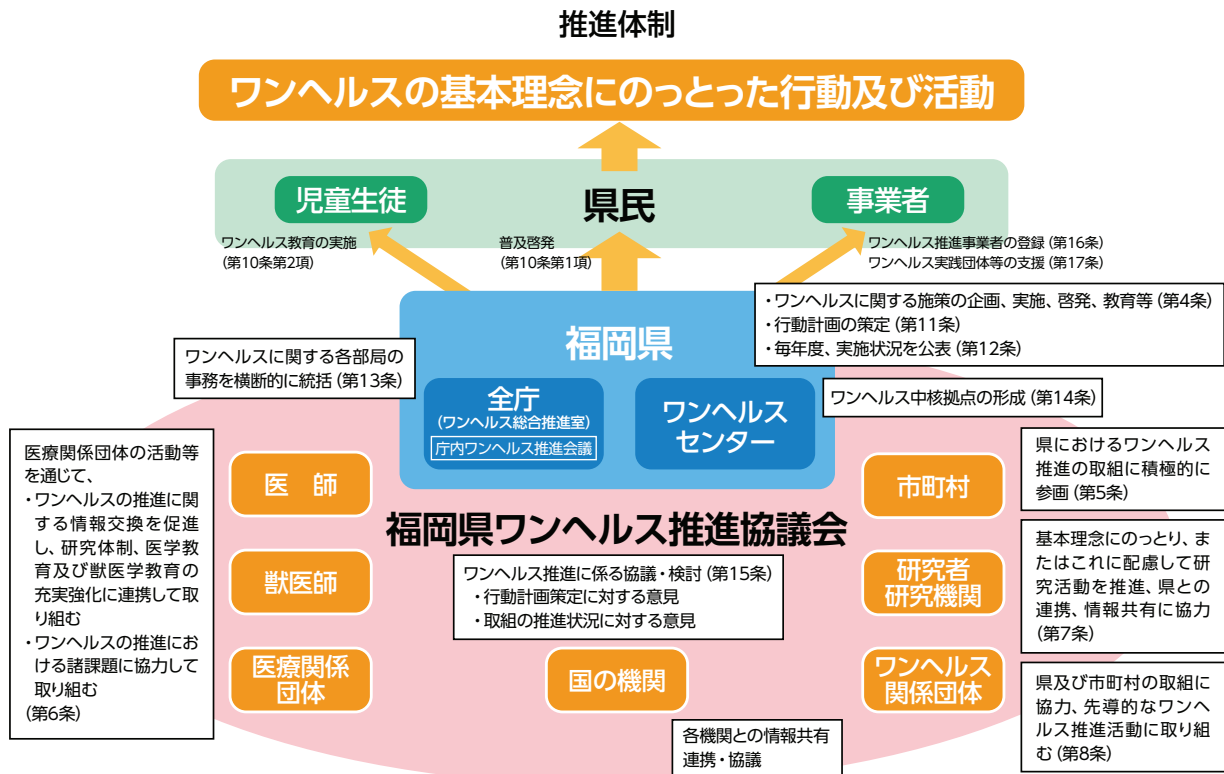
推進体制と進捗管理



第4章 推進体制と進捗管理

1 推進体制

本県では、関係機関等と連携して、本計画に基づく施策に取り組み、県民一人一人がワンヘルスの理念にのっとった行動や活動を行うことを推進していきます。



(1) 福岡県ワンヘルス推進協議会、庁内ワンヘルス推進会議

関係機関と連携した取組を進めるため、各分野の専門家や行政機関による「福岡県ワンヘルス推進協議会」において、ワンヘルスの推進について、継続的に協議・検討を行っていきます。

また、庁内の関係組織が連携し、一体となって取り組むため、関係課で構成する「庁内ワンヘルス推進会議」において、各施策の総合調整と情報共有を行うとともに、「ワンヘルス総合推進室」が統括し、部局を横断する施策を円滑に進めていきます。

福岡県ワンヘルス推進協議会

「福岡県ワンヘルス推進基本条例」第15条に基づき、本県のワンヘルスの実践の取組を円滑に推進するため設置

【主な構成員】

県、国の機関、市町村、医師、獣医師、医療関係団体、研究者、研究機関、食品・動物愛護等の団体、県議会

(2) 関係者の役割

ワンヘルスの推進において各地域の主体となる市町村、そして、県民や事業者等の役割は次のとおりとなります。

① 県民の役割

- ワンヘルスの理念を理解し、その課題について、理解を深めるとともに、主体的に実施できることを考え行動することが求められます。
- ワンヘルスの推進に関する活動等に参加するなど、直接的な行動を行うほか、活動を行う団体等を支援するなど、間接的な行動を行うことが期待されます。
- 地域や家族など、身近なコミュニティにおいて、ワンヘルスの理念の理解促進に貢献することが期待されます。

② 市町村の役割

- ワンヘルスの推進には、地域の実情を把握し、住民に最も身近な行政機関である市町村の役割が欠かせません。市町村は、県が行う本計画に基づく取組に積極的に協力するとともに、各地域の状況に応じたワンヘルスの実践に関する施策を推進することが求められます。また、住民へのワンヘルスの理念に係る普及啓発の中心的な役割を担います。

③ 医師、獣医師及び医療関係団体の役割

- 人と動物の健康と環境の保全に係る幅広い活動分野において業務に携わる医師と獣医師は、医療関係団体の活動等を通じてワンヘルスの推進に関する情報交換を促進し、研究体制や教育の充実・強化に連携して取り組むなど、県の取組に協力することが求められます。
- 医療関係団体の活動等を通じて相互交流を促進し、ワンヘルスの推進における諸課題に協力して取り組むなど、ワンヘルスの実践に自主的に取り組むことが求められます。

④ 研究者、研究機関等の役割

- ワンヘルス推進における諸課題について研究活動を進めるとともに、その研究や知見について、県が整備するワンヘルスの中核拠点(ワンヘルスセンター)との連携や情報共有が求められます。

⑤ ワンヘルス関係団体の役割

- 県及び市町村のワンヘルス推進の取組に積極的に協力するとともに、それぞれの団体が持つ知見を生かした新たな取組が求められます。

⑥ 事業者の役割

- 事業活動において、環境負荷や動物等への影響を配慮するなど、ワンヘルスの推進に貢献することが求められます。

- 特に、動物を取り扱う事業者については、感染症対策、薬剤の適正使用、動物愛護と福祉の観点から、動物を適正に取り扱うことが求められます。
- 他者が行うワンヘルスの推進に関する活動等に参加・協力するほか、活動を行う団体等への支援等が期待されます。
- 事業活動を通じて、ワンヘルスに係る普及啓発に協力することが期待されます。

2 進捗管理・計画の指標(数値目標)

(1) 進捗管理

本県では、毎年、本計画に基づく施策の取組状況やその成果を点検・評価し、その結果を福岡県ワンヘルス推進協議会に報告し、意見を求めます。評価結果や協議会の意見を踏まえ、必要に応じて、施策の進め方を改善していくとともに、新たな施策の検討を行います。

また、実施状況については、毎年、県ホームページ等に掲載し、県民に広く公表します。

(2) 計画の指標(数値目標)

計画の点検・評価の指標として、以下の数値目標を設定します。

7つの柱	目標名	現状 (2020(令和2)年度)	目標値 (2026(令和8)年度)
人獣共通感染症対策	飼養衛生管理基準に基づく畜産農場巡回指導実施率	100%	100%(毎年度)
	食品営業施設等への監視指導実施率	66.8%	100%
	動物に触れる際に感染防止に取り組んでいる県民の割合	【参考値】75.8% (2021(令和3)年度) (ペットとふれあう機会のない人も対象として調査)	100%
薬剤耐性菌対策	国の院内感染サーベイランス事業への参加率	25.6%	全国平均以上
	飼養衛生管理基準に基づく畜産農場巡回指導実施率(再掲)	100%	100%(毎年度)
	食品営業施設等への監視指導実施率(再掲)	66.8%	100%

7つの柱	目標名	現状 (2020(令和2)年度)	目標値 (2026(令和8)年度)
環境保護	生物多様性プラットフォーム(HP)アクセス数	177,391件	266,100件
	農地等の維持・保全に取り組む面積	41,545ha	42,180ha
	温室効果ガスの総排出量の削減率	22.9% (2018(平成30)年度)	38.3%
	再生可能エネルギー発電設備導入容量	269万kW	405万kW
	環境基準の達成率	大気(SPM、NO ₂ : 100%) 水質(BOD、COD: 76.1%) DXN類(大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水、土壌: 100%)	環境基準達成率向上・達成維持(毎年度)
人と動物の共生社会づくり	災害時における愛玩動物の同行避難等に係る規定を整備している市町村数	45市町村(累計)	60市町村(累計)
	有害鳥獣の捕獲者数	3,004人(累計)	3,100人(累計)
健康づくり	平尾台自然観察センターの入館者数	39,980人 (2018(平成30)年度)	44,000人
	「ワンヘルスの森」来場者数	【参考値】四王寺県民の森来場者数 254千人(2016(平成28)~2020(令和2)年度5か年平均)	1,400千人 (5年間累計)
環境と人と動物のより良い関係づくり	国際水準GAPの認証取得数	37件(累計)	60件(累計)
	ワンヘルスの実践に取り組む経営体数(農林漁業)	—	6,000経営体 (5年間累計)
	中山間応援サポーター活動への参加者数	71人 【参考】141人(2019(令和元)年度)	240人
	ふくおか地産地消応援の店の数	1,659店(累計)	2,200店(累計)
ワンヘルス実践の基盤整備	ワンヘルスの認知率	21.9% (2021(令和3)年度)	70%
	ワンヘルス宣言事業者登録数	—	11,000件 (5年間累計)
	高等学校におけるワンヘルス教育の実施率	—	100%